

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124100	空港利用促進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,620	1,609		-11
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,620	1,609		-11

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	--	------	---------------

部重点施策における目標

いわて花巻空港の利用を促進させます

事業開始の背景・経緯

花巻空港は、本市に所在する岩手県の空の玄関口として、市民・県民生活の利便性向上や経済発展に大きく寄与しているが、より一層の機能強化と利用促進のため、各協議会へ加入し一体となって活動することが重要である。

事業概要

空港利用促進関係団体への支援 1,609千円
 ・岩手県空港利用促進協議会等への支援、並びに連携した利用促進活動を実施
 要望活動・P R活動 0千円
 ・新規路線就航及び増便にかかる要望活動、就航先都市でのP R活動

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井淳
------	-------------------	------	-----

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

空港利用促進関係団体への支援 1,609千円

(補助及び連携活動)
 花巻空港利用促進協議会
 目的 空港の一層の利用促進を図る
 事業内容 「空の日」イベント事業への協力等利用促進活動等
 補助金 97千円
 事務局 花巻商工会議所

(連携活動)
 岩手県空港利用促進協議会
 目的 県内の航空需要の喚起を図り、航空路線の充実等を促進し、国内外との交流の活性化を通じて県の幅広い発展に資する
 事業内容 国内定期利用促進事業、国際チャーター運航拡大事業 等
 負担金 1,500千円
 事務局 岩手県交通政策室

(国への要望に係る連携)
 全国民間空港関係市町村協議会
 目的 加盟市町村が有する民間空港関連の各種問題を総合的に調査研究し、解決するための方策の推進
 事業内容 要望活動、空港フォーラム及び研修会の開催 等
 負担金 12千円
 事務局 兵庫県伊丹市

要望活動、P R活動 0千円
 コロナ禍により書面活動のみだった為

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	07	124300	公共交通確保対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		146,720	167,694		20,974
財源内訳	国費	3,913	0		-3,913
	県費	0	5,232		5,232
	地方債	0	28,600		28,600
	その他	10,000	0		-10,000
	一般財源	132,807	133,862		1,055

特定財源の内訳

<p>特定財源の内訳</p>					
----------------	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

効率的で利便性の高い公共交通の確保を図る

事業開始の背景・経緯

バス利用者数の減少による民間路線バスの撤退、市街地の活性化や合併による直通バスの確保などの課題に対し、公共交通を必要とする市民等にとって、利用しやすい公共交通サービスを提供

事業概要

バス等運行事業費補助 121,843千円
 市街地循環バスふくろう号・星めぐり号、大迫・花巻地域間連絡バス、県立中部病院連絡バス、予約乗合バス（石鳥谷地域、東和地域、大迫地域、西南地域、湯口地区）、広域生活路線バス運行補助金の交付
 バス運行業務等委託 11,152千円
 予約乗合バスシステム運用管理、市所有バスの維持管理、予約応答型乗合交通等導入検討調査業務
 イトーヨーカドー交通結节点整備 31,631千円
 工事請負費、バス待合所清掃業務等
 生活バス路線利用促進事業補助金 706千円
 その他 2,362千円 公共交通会議開催、交通マップ等の作成、バス利用促進企画等

担当部署	16100000 建設部 都市政策	担当課長	澤田 利徳
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

花巻市地域公共交通網形成計画に基づいた公共交通施策の展開が求められている（交通不便地域への予約乗合バスの導入、交通結节点の整備、情報発信と利用促進）。幹線路線である大迫石鳥谷線及び大迫花巻線の維持・利便性向上のための方策が求められている。

事業手法の詳細 1

1. バス等運行事業補助 121,843千円
 市街地循環バスや大迫花巻線などのコミュニティバス、予約乗合バスの運行費補助を実施するとともに、民間バス路線への補助を実施し、市民の交通手段を確保を図る。

- ・民間バス路線（大迫石鳥谷線）の補助金の増額
- ・コロナ禍における運賃収入減、人件費増（運転手）による補助金の増額（コミュニティバス、民間バス路線、予約乗合バス）

2. バス運行業務等委託 11,152千円
 石鳥谷地域、東和地域、大迫地域、西南地域の各予約乗合バスを円滑に運行するため、予約乗合バスシステムを運用する。
 幹線路線バス等の運行地域での路線に影響のない範囲において、交通不便地域を解消するため、予約乗合バスを含めた新たな交通手段の導入検討を行う。

- ・予約乗合バスシステム運用管理業務委託
- ・予約応答型乗合交通等導入検討調査業務委託【新規】

3. イトーヨーカドー交通結节点整備 31,631千円
 路線バスと予約乗合バスとの結节点となる乗り継ぎ拠点の待合環境を改善し、市民や来訪者が快適に市内を移動できる環境を整える。

- ・工事請負費等 30,943千円【新規】（敷地分割、工事費、監理費、デジタルサイネージ設置）
- ・整備後清掃等 688千円【新規】

4. 生活バス路線利用促進事業補助金 706千円
 バス路線大迫石鳥谷線について、利用促進を図り路線を維持するため、当該路線を利用する高校生を対象に、通学定期券購入に係る費用の一部を補助する。

- ・補助額 706,100円（対象者9名）

5. その他 2,362千円

地域公共交通会議委員報酬、予約乗合バス試乗体験会【新規】、チラシ等印刷費、バス車庫光熱水費等

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	07	124310	公共バス支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	625		625
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	625		625

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		
------	-------	------	---	--	--

部重点施策における目標

地域の特色を生かした地域づくり

事業開始の背景・経緯

本市公共交通サービスの一翼を担う㈱東和町総合サービス公社は、平成29年度決算において債務超過になったことから、同社は「経営健全化計画」により売上向上を図るとともに、市は「経営健全化方針」による支援を行い、経営の健全化に取り組む。

事業概要

経営改善事業補助金 1,250千円 × 1/2 = 625千円
平成31年3月に策定した「株式会社東和町総合サービス公社経営健全化方針」に基づき、売上増加等による経営改善を図るため、専門的なコンサルティングを受ける費用に対し1/2の補助を行う。

担当部署	24160000 東和支所 東地(建設)	担当課長	中村 陽一
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

(1) 経営改善事業補助金 625千円

補助金の概要

㈱東和町総合サービス公社の売上増加等による経営改善を図るため、専門的な経営コンサルティング費用に対し、1/2の補助を行うもの。

補助金 625千円 (コンサルティング業務委託料1,250千円 × 1/2 = 625千円)
期間 令和元年度~令和3年度 3年間

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	07	124320	公共交通事業者緊急対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		57,400	4,600		-52,800
財源内訳	国費	57,400	4,600		-52,800
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
効率的で利便性の高い公共交通の確保を図る。

事業開始の背景・経緯
新型コロナウイルス感染症の影響により、乗合バス事業者の経営環境が急激に悪化している。

事業概要
公共交通事業者緊急対策支援金 4,600千円 新型コロナウイルス感染症の影響により、乗合バス事業者の経営環境が急激に悪化していることから、地域公共交通の維持確保のため、乗合バス事業者に対し、事業継続のための支援金を交付する。

担当部署	16100000 建設部 都市政策	担当課長	澤田 利徳
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況
新型コロナウイルス感染症の影響により、乗合バス事業者の経営環境が急激に悪化しており、事業継続のための支援が求められている。

事業手法の詳細1
公共交通事業者緊急対策支援金 4,600千円
【目的】 新型コロナウイルス感染症の影響により、乗合バス事業者の経営環境が急激に悪化していることから、公共交通の維持確保のため、乗合バス事業者に対し事業継続のための支援金を交付する。
【対象】 花巻市内に本社、支社、営業所を有する乗合バス事業者 1社
【内容】 乗合バス事業者：200千円/1台（車検等年間維持費用1/2相当）
【実績】 岩手県交通㈱ 23台 × 200千円/1台 = 4,600千円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	04	05	184290	都市施設機能改善事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,960	3,938		-22
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,960	3,938		-22

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
都市施設の利便性向上を図る。

事業開始の背景・経緯
H30年度に新花巻駅駐車場においてキャッシュレス決済機能を導入し駅利用者の利便性が向上した。花巻駅においても同機能を導入し、現金に触れずに衛生的で迅速な決済を可能にすることが望まれている。

事業概要
花巻駅前駐車場の料金支払方法拡大（電子マネー、クレジットカード） 3,938千円（繰越明許費） 駐車場自動精算機にキャッシュレス決済機能を導入（花巻駅南駐車場第1・第2）

担当部署	16100000 建設部 都市政策	担当課長	澤田利徳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況
令和2年に花巻駅南駐車場で実施した利用者アンケートでキャッシュレス決済機能の導入を望む意見が寄せられた。

事業手法の詳細1
駅前駐車場キャッシュレス決済機能導入 3,938千円 花巻駅南駐車場第1・第2の自動精算機に電子マネーやクレジットカード決済を可能にする機能を導入 機器・取付・調整経費 1,969千円×2箇所 = 3,938千円 供用開始時期 令和3年8月